

算数

小学校 第5学年

OS・ソフト等

- iPad
- 学習者用デジタル教科書
- ミライシード
- NEW! GIFU ウェブラーニング

<単元・題材名等>

単位量あたりの大きさ

ねらい

混み具合の比べ方を考える活動を通して、単位量あたりの大きさを求めると比べやすいことに気づき、混み具合の比べ方を説明することができる。

主なICTの活用方法

- ・ 学習者用デジタル教科書を用いて、自分の考えを図にまとめる。作成した図をオクリンクで共有し、図を指し示しながら説明し合う。
- ・ NEW! GIFU ウェブラーニングの「きょうのもんだい」で学習内容が理解できたか確認する。

ICTを通じて育成する資質・能力

- ・ 単位量あたりの考え方をういて、混み具合の比べ方を考え、図と式を関連させて説明することができる。
- ・ 単位量あたりの考え方をういて、問題を解決することができる。

実践の概要

【導入】

- ・ 協働学習支援ツール（ミライシード）の「オクリンク」のカードに、前時までの違いや解き方の予想を記入する。そこで、単位量あたりにそろえたり、もとにする量の公倍数を見つけたりするなどの見通しを立てる。
- ・ 見通しごとに記入するシートの背景色を色分け（単位量あたりにそろえる：青、もとにする量の公倍数を見つける：赤等）することを共通理解しておく。

【個人追究・交流】

- ・ 個人追究の場では、学習者用デジタル教科書を用いて操作をしたり、自分の考えを図に表したりする。
- ・ 作成した図をスクリーンショットで撮影し、オクリンクの提出BOX（公開）に提出し、仲間の考えと比較できるようにする。
- ・ 自由交流では、大型画面に示された背景色を基に、同じ考えの仲間や違う考えの仲間と意図的に交流する。

【終末】

- ・ 終末では、確認問題としてNEW! GIFU ウェブラーニングの「きょうのもんだい」に取り組む。リアルタイム把握機能を使い、全員の学習状況を見届ける。解答が止まっている児童を中心に机間指導で指導・援助する。



児童の学びの様子

- 考え方ごとに、背景色を決め、大型画面に提示することで、児童自身が目的をもって、同じ考え方や違う考え方の児童と交流することができた。
- リアルタイム把握機能を活用した個に応じた、適切な指導・援助があったことで、どの児童も最後まで粘り強く取り組むことができた。



指導のポイント

- 自由交流の段階において児童が目的をもって話し合えるよう、考え方ごとに背景色を決めておく。
- NEW! GIFU ウェブラーニングに取り組む段階では、リアルタイム把握機能等を活用して、一人一人の学習状況に応じた適切な指導・援助を行うなど、指導の個別化を図る。